

授業 科目名	【G】	人文地理学Ⅱ	区 分	開講年次	【G】1	単位数	【G】2	
	【H】	人文地理学Ⅱ			【H】1		【H】2	
	【I】	人文地理学Ⅱ	選 択		【I】1		【I】2	
科目区分	基本科目:【G・H・I】教科及び教科の指導法に関する科目(中社・地歴・一・一)							
授業形態	オンライン開講							
担当形態	単 独	【G】	教員の免許状取得のための(中社選択・地歴選択・一・一)科目					
		【H】	教員の免許状取得のための(中社選択・地歴選択・一・一)科目					
		【I】	教員の免許状取得のための(中社選択・地歴選択・一・一)科目					
施行規則に定める科目区分又は事項等	教科に関する専門的事項:「地理学(地誌を含む)」(中一種免社会) 「人文地理学・自然地理学」(高一種免公民)							
サブ タイトル	人間活動の空間的規則性			担当者	伊藤 修一			
授業概要	【概要】	地理学での地域の捉え方の一つには、様々な地域でみられる事象の一般性や法則性を追求する系統地理学的方法がある。この授業ではこの方法に基づいて、具体的な例を通じて、特に都市や商業・工業の空間立地に関する基本的な考え方を概説する。折に触れて実習にも取り組んでもらい、人間活動の空間的規則性と多様性の理解を深めることをねらう。						
	【到達目標】	都市や商業・工業といった諸産業の役割や位置づけを理解・説明できることと、それらの空間立地の一般性に関心を深めて古典的な立地法則を理解・説明できること、地図や統計図表の読み取りや表現活動を通じて、具体的な地理的な立地現象を理解・説明できることを目標とする。						
履修条件	パソコン(Windows OS)で受講すること。スマートフォンによる受講は極力避けること。							
アクティブ ラーニングの 方法	【－】	事前学習型	【－】	反転授業	【－】	調査学習	【－】	フィールドワーク
	【－】	双方向アンケート	【－】	グループワーク	【－】	対話・議論型授業	【－】	ロールプレイ
	【－】	プレゼンテーション	【－】	模擬授業	【－】	PBL	【○】	その他
ディプロマ・ ポリシーとの 関連性	DP(ディプロマ・ポリシー)①	－ (当てはまらない)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)②	○ (やや当てはまる)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)③	◎ (よく当てはまる)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)④	－ (当てはまらない)						
他科目との 関連性	地理学概論と人文地理学Ⅰの履修を済ませていることが望ましい。							
教科書	中学校・高校などで用いた地図帳。それに加えて、授業中に適宜資料を配布する。							
参考書	授業の中で適宜紹介する。							
評価方法	学習到達度(40%程度)と、毎回実施予定の小テスト・課題への取り組み(60%程度)に基づいて総合的に評価する。							
フィードバック 方法	小テスト・課題や学習到達度の確認に関する解説などは、Google Classroom内で行う予定である。							
評価基準	授業内容をよく理解し、適切に表現できた者にはその程度に応じて「S」または「A」を与える。授業内容の理解や表現が不適切な者はその程度に応じて「B」または「C」とし、授業内容の理解自体が不十分な者はその程度に応じて「D」または「E」とする。欠試などで評価不能な場合は「F」とする。							

授 業 科目名	【G】	人文地理学Ⅱ	区 分	開講年次	【G】1	単位数	【G】2
	【H】	人文地理学Ⅱ	選 択		【H】1		【H】2
科目名	【I】	人文地理学Ⅱ			【I】1		【I】2
授業回数	授業内容						
1	ガイダンス／多様な人間活動と空間との関係 予習： 授業内容などを理解するためのシラバスの熟読。(90分) 復習： ガイダンス内容の確認と人文地理学の意義の整理。(90分)						
2	都市の定義と問題点 予習： 地図帳を用いた日本の行政市の分布の確認。(90分) 復習： 「都市」と呼ばれる地域の特徴と定義の整理。(90分)						
3	日本の都市の分布の特徴 予習： 地図帳を用いた日本の行政市の分布の確認。(90分) 復習： 小テストの見直し。日本の都市の分布の特徴と背景の整理。(90分)						
4	都市(商業)の立地(1)―クリスタラーの「中心地理論」の基本原理 予習： 日本の都市の分布の特徴と背景の確認。(90分) 復習： 小テストの見直し。「中心地理論」による都市の立地の原則の整理。(90分)						
5	都市(商業)の立地(2)―クリスタラーの「中心地理論」の例外原理 予習： 「中心地理論」による都市の立地の原則の確認。(90分) 復習： 小テストの見直し。「中心地理論」における原則と例外との違いの整理。(90分)						
6	都市(商業)の立地(3)―クリスタラーの「中心地理論」の実際 予習： 「中心地理論」による都市の立地の考え方の確認。(90分) 復習： 小テストの見直し。「中心地理論」による具体的な地域の説明の整理。(90分)						
7	都市(商業)の立地(4)―クリスタラーの「中心地理論」の実際【AL】 予習： 課題の目的と内容、作業方法と進め方の確認。(90分) 復習： 課題成果にみられる特徴や傾向の読み取りとまとめ。(90分)						
8	工業の立地(1)―ウェーバーの「工業立地論」の基礎 予習： 地図帳を用いた日本の工業生産の分布の確認。(90分) 復習： 「工業立地論」による工場の立地の考え方の整理。(90分)						
9	工業の立地(2)―ウェーバーの「工業立地論」の実際 予習： 「工業立地論」による工場の立地の考え方の確認。(90分) 復習： 小テストの見直し。「工業立地論」による具体的な地域の説明の整理。(90分)						
10	都市や地域の結びつき(1)―「結びつき」とは？ 予習： 「中心地理論」や「工業立地論」の概要の確認。(90分) 復習： 小テストの見直し。「結びつき」の意味と具体例の整理。(90分)						
11	都市や地域の結びつき(2)―「結びつき」を規定する要因 予習： 「結びつき」の意味と具体例の確認。(90分) 復習： 小テストの見直し。「結びつき」を規定する要因の整理。(90分)						
12	都市や地域の結びつき(3)―「結びつき」の強さの法則性 予習： 「結びつき」を規定する要因の確認。(90分) 復習： 小テストの見直し。「結びつき」の強さの法則を導き出す過程の整理。(90分)						
13	都市や地域の結びつき(4)―「結びつき」の計測と評価の実際【AL】 予習： 課題の目的と内容、作業方法と進め方の確認。(90分) 復習： 課題成果にみられる特徴や傾向の読み取りとまとめ。(90分)						
14	都市や地域の結びつき(5)―「結びつき」の法則性と実際 予習： 第13回の課題成果にみられる特徴や傾向の確認。(90分) 復習： 配布資料等を用いた授業で紹介された地域の整理。(90分)						
15	学習到達度の確認と質疑応答 予習： 配布資料等を用いた授業で紹介された地域・事象の確認。(90分) 復習： 配布資料等を用いた授業で紹介された地域・事象の説明。(90分)						
その他	シラバスとともに第1回授業の内容も随時確認して、学習に努めること。Google Classroomの限定公開のコメント欄より随時質問や相談が可能となっている。その際には氏名を付したり、返答に対して応答したりするなどの最低限のマナーを守ること。						